

案件概要書

2016 年 8 月 30 日

1. 基本情報

- (1) 国名：バングラデシュ人民共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ダッカ
- (3) 案件名：ダッカ国際空港拡張計画（Dhaka International Airport Expansion Project）

- (4) 事業の要約：

バングラデシュの首都空港であるダッカ国際空港において、ターミナルの拡張・移設及び周辺インフラの整備を行い、急増する航空需要に対応し空港の利便性・効率性・安全性の向上を図り、もって中所得化に向けた全国民が受益可能な経済成長の加速化に寄与するもの。

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における都市開発セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
バングラデシュは近年、年平均 6%以上の経済成長を遂げており、これを背景に、首都ダッカの国際空港の航空旅客の年平均増加率は 10%近い水準に達するなど、航空需要が急速に拡大している。ダッカ国際空港（Dhaka International Airport）は、バングラデシュ国内で離発着する 7 割近くの国内・国際便が利用しており、急成長する社会経済活動を支えるインフラとして重要な役割を担っている。

現在のダッカ国際空港の施設は、対応年間旅客数を 800 万人と見込んで整備されているが、2035 年までのマスタープラン（2015 年作成）によれば、2018 年末に収容能力を超える見込みとなっており、これに対応するため、バングラデシュ政府は、同空港の国際線旅客ターミナル拡張（第三ターミナルの新設）、貨物及び国内線ターミナル移設、国道へのアプローチを含む周辺インフラ等の整備計画を検討している。特に、「ダッカ国際空港拡張計画」によるターミナルの拡張と周辺インフラの整備については、バングラデシュ政府の次期開発戦略（第 7 次五か年計画）においても重要案件として位置付けられており、早急な事業化が期待されている。また、ダッカ国際空港は、ダッカ市街地から約 17km 北に位置しており、将来は都市鉄道や高速道路と接続させる計画もあるため、ダッカ国際空港へのアプローチ部分は他の交通モードとの結節点（マルチモーダル・ハブ）とする計画がある。

ダッカ国際空港においては、対バングラデシュ無償資金協力「航空保安設備整備計画」（2014 年～）を通じた航空保安設備の整備も行われており、航空機の目的地空港への誘導・着陸の安全性確保、航空機事故発生時対策、テロ対策等が図られる見込みである。今後の更なる需要増加への対応と利便性・安全性の確保のためには、上述のとおり中期的なダッカ国際空港の拡張計画の具体化が喫緊の課題となっている。

- (2) 都市開発セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

対バングラデシュ国別援助方針（2012 年 6 月）では、中所得化に向けた、全国民

が受益可能な経済成長の加速化を重点分野として掲げ、人とモノの効率的な移動の促進及び地域間格差の解消に向け、運輸・交通インフラの整備に取り組むとしている。また、JICA は、対バングラデシュ国別分析ペーパー（2013 年 4 月）において、「全国運輸交通ネットワーク整備」が重点課題であると分析しており、本事業はこれらの方針・分析に合致する。

（３）他の援助機関の対応

フランス政府が 1990 年代後半に民間航空訓練校への訓練機材の供与している他、デンマーク国際開発援助活動（DANIDA）が 2013 年にダッカ国際空港の基本施設・航空保安設備の改良を支援している。

（４）本事業を実施する意義

本事業は、我が国及び JICA の援助方針・分析と合致しており、またバングラデシュ政府の政策においても、経済成長に伴う航空需要の増加に対応したダッカ国際空港の拡張及び周辺交通網整備の重要性が指摘されていることから、JICA が本事業の実施を支援する必要性は高い。

3. 事業概要

（１）事業概要

① 事業の目的

本事業は、バングラデシュの首都空港であるダッカ国際空港において、ターミナル拡張・移設及び周辺インフラの整備を行い、急増する航空需要に対応し空港の利便性・効率性・安全性の向上を図り、もって中所得化に向けた全国民が受益可能な経済成長の加速化に寄与するもの。

② 事業内容

ア） 建設工事：国際線旅客ターミナル拡張、貨物及び国内線旅客ターミナルの移設、構内道路・駐車場の建設、アプローチ道路の建設等。

イ） コンサルティング・サービス：詳細設計（D/D）、入札補助、施工監理等。

③ 他の JICA 事業との関係

無償資金協力「航空保安設備整備計画」（2014 年～）によりダッカ国際空港の航空保安設備の整備（手荷物検査機器、航空管制シミュレーター、空港消防車等）を実施中。本事業では、ターミナル拡張に伴い不足する資機材について追加的な支援を行う予定。

（２）事業実施体制

① 借入人

バングラデシュ（The Government of People's Republic of Bangladesh）

② 事業実施機関／実施体制

民間航空局（Civil Aviation Authority of Bangladesh。以下「CAAB」という。）

③ 他機関との連携・役割分担

特になし

④ 運営／維持管理体制

CAAB にて運営・維持管理がなされる見込み。技術面・財務面を含む運営維持管

理能力も含めて、詳細は協力準備調査にて確認する。

(3) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 ☐A ☒B ☐C ☐FI

② カテゴリ分類の根拠：

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる空港セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

(4) 横断的事項

協力準備調査にて確認する。

(5) ジェンダー分類

ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件

(6) その他特記事項

質の高いインフラ投資実現に向けた日本の高度な技術（急速施工等）を導入できる可能性がある。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

対タイ円借款「バンコク国際空港拡張計画」の事後評価等において、既存空港を運用しながらの拡張事業では、複雑な工程計画・設計が要求されるため、詳細設計期間を慎重に検討することが必要であり、また、航空機の安全運航の確保や利用客の利便性の確保に特に留意する必要があるとの教訓が得られている。本事業においても、既存の旅客ターミナルの運営を行いながら工事を行うこととなるため、計画の初期段階から、詳細設計の期間の検討及び既存施設の運営組織との調整を進めるとともに、施工監理の一環として、既存施設の運営組織との調整支援を盛り込む予定。

以 上

[別添資料] 地図

ダッカ国際空港拡張計画 地図

